

ロボ産業人材育成へ

南相馬市、相模原の企業 協定



協定を結んだ大西社長(左)と門馬市長

南相馬市と自律移動型ロボット開発ベンチャーの「クフウシヤ」(相模原市)は9日、浜通りに新産業を集積する福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想の実現に向けた連携協定を結んだ。

2019年に南相馬市に進出した同社は、市内の高校生向けに講座を開いたり、イベントでロボット展示などを行ったりして市の産業発展に貢献している。同市原町区のラファイヌで行われた締結式で門馬和夫市長と協定書を取り交わした大西威一郎社長は「今後も南相馬で開発を進め、世の中にまだ存在していないロボットを作りたい」と意気込んだ。

締結式後、同社が開発した自律移動掃除ロボットの披露も行われた。

イノベ構想実現へ協定

ロボット産業の人材育成



協定を結び、握手する大西社長(左)と門馬市長

産業用掃除ロボット開発のベンチャー企業「クフウシヤ」(本社相模原市)は九日、

南相馬市とクフウシヤ(相模原)

南相馬市と福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想の実現に向けた協定を結んだ。小高産業技術高の生徒や、県立テクノアカデミー浜の学生に研究開発の魅力を伝え、ロボット関連産業の人材育成につなげる。

同社は地元の高中生と共にロボットを作り、性能や操作技術を競う「ロボットコンテスト」に参加する方針。将来的に小中学生向け授業も開く予定。市は実験費用の助成金の助成率と上限額を引き上げて支援する。

同社は二〇一九年に市内原町区に南相馬事務所を開設した。掃除ロボットは地元の製造業四社と連携して作った。幅約五十センチ、奥行き約七十センチ、高さ約八十センチで、重さ約五十五キログラム。あらかじめ指定した範囲を自律移動しながら掃除する。約一五秒の段差を乗り越えられる。階段用の掃除

ロボットの開発も進めている。

協定締結式は九日、市内原町区のラファイヌで行われ、大西威一郎社長と門馬和夫市長が協定書を交わした。大西社長は「若い人にロボット開発の楽しさを伝えていきたい」と誓った。門馬市長は「市を挙げて取り組みに協力したい」と意欲を語った。同日、ラファイヌに掃除ロボットの第一号を導入し、お披露目した。

2/10 (水) 日刊工 (9)

清掃ロボ開発・実証

福島・南相馬市と協定

クフウシヤ

【いわき】クフウシヤ(西威一郎社長)は9月(相模原市緑区、大井町、福島県南相馬市と

ロボットの開発・実証で連携協定を結んだ。

同社は同市内で自律移動型の清掃ロボット「Asion」の実証を行っている。今回の連携協定に基づき、市は実証の場や開発環境を提供する。

同社は業務用清掃ロボットなどを開発しており、2019年に同市内に拠点を設置。20年10月から市内ホテルで

Asionの実証を行っている。

今後、同市内のさまざまな場所の実証して実用化につなげる。ロボットの製造では小口ロボット対応の樹脂成形や機械加工、組み立てを地元企業と協業して進める事も検討していく。

クフウシヤはロボット人材の教育にも取り組む。